

「第 2 回 愛媛県勤労者定期観測調査」結果概要

(2012 年 5 月調査)

2012 年 9 月 7 日

はじめに

一般社団法人愛媛県労働者福祉協議会は、愛媛県内における勤労者の福祉を増進するための基礎資料を得ることを目的に、県内勤労者を対象にした景況調査を定期的を実施していくことにしました。2012 年 5 月から 6 月にわたり「第 2 回調査」を実施しましたので、ここに調査結果の概要を報告します。当調査にご協力いただいた加盟団体・事業所、ご回答していただいた方々に厚くお礼申し上げます。

調査の意義

企業や経営者を対象とした景況調査は多数実施されていますが、勤労者を対象に景況感や暮らし向きを定期的に調べる調査は多くありません。また、愛媛県内を広く対象地域とする定期調査となると、類似のものは皆無であり、当調査は非常にユニークな調査になると考えております。今後、労福協では、調査を繰り返し変えすなかで、各種の DI 値を算出し、県内勤労者の景況感や暮らし向きの動きを捉えていくことを予定しております。

調査概要

- ①調査名称：愛媛県勤労者定期観測調査（愛媛県勤労者短観）
- ②調査対象：愛媛県内 106 事業所の勤労者
- ③調査項目：定期調査（勤労者の景況感、仕事の現状、暮らし向き等）および特別調査
- ④調査実施期間：年 2 回 5 月、11 月 （第 2 回調査）2012 年 5 月～6 月
- ⑤調査依頼数：（第 2 回調査）登録者：441、回収数：399、有効回答数：396
- ⑥調査方法：質問表によるアンケート調査（郵送調査法）

調査結果の特徴

○「勤め先の経営状況」

——4割が「悪化」と回答。

○「仕事」「将来の暮らし向き」

——多くの勤労者が将来の経済的生活に不安を表明。

○「仕事」と「生活」の満足度

——「仕事」の満足度が高いものは「生活」の満足度も高く、逆に「仕事」の不満度が高いものは「生活」の不満度も高いという「二極化」。

主な調査結果の概要

1. 勤め先の経営状況

1年前と比べて、勤務先の経営状況が「悪くなったと思う」が41%で、「良くなったと思う」の11%を大きく超過した。

2. 仕事での不安・悩み

「将来の収入」をあげた人が48.5%、「毎月の収入の少なさ」をあげた人が26.0%であり、それに「上司や同僚との人間関係」が23.7%と続いている。

3. 世帯の暮らし向き

1年前と比べて、世帯の暮らし向きは「変わらない」が70%であるが、「悪くなった」が22%であり、「良くなった」の6%を大きく上回っている。

4. 暮らし向きに関連した不安・悩み

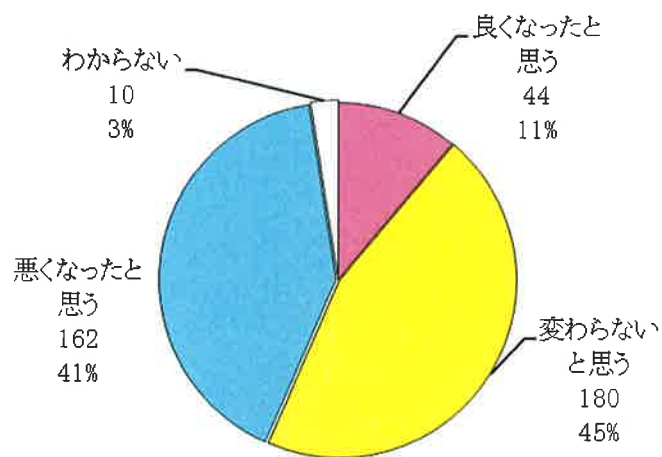
「預貯金などの試算の少なさ」が58.7%、「自分や家族の健康」が36.7%、「自分自身または配偶者の老後」25.6%で上位3つとなった。家計の不安が、資産の少なさ、健康、老後、教育、ローンと広がっていく状況が確認できる。

調査結果概要と集計結果

1. 勤め先の経営状況

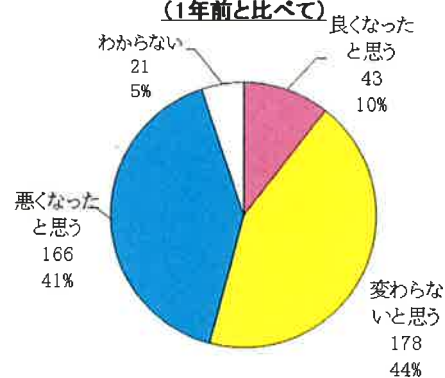
1年前と比べて、勤務先の経営状況が「悪くなったと思う」が41%で、「良くなったと思う」の11%を大きく超過した。

問1 勤め先の現在の経営状況
(1年前と比べて)

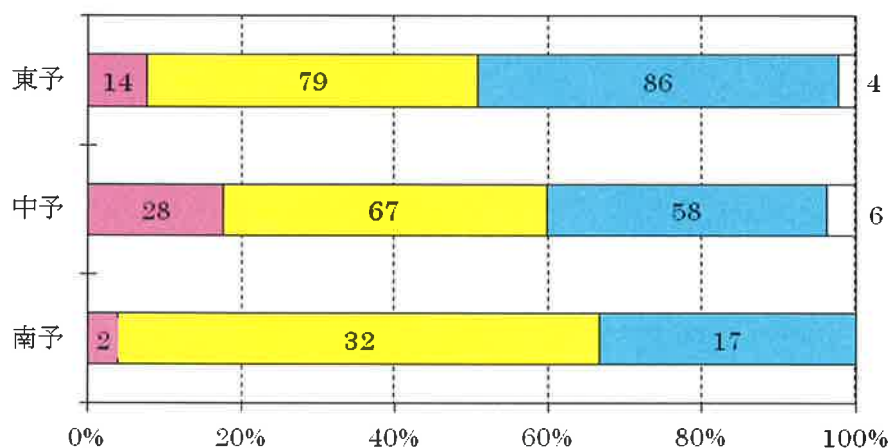


N=396

前回調査
問1 勤め先の現在の経営状況
(1年前と比べて)

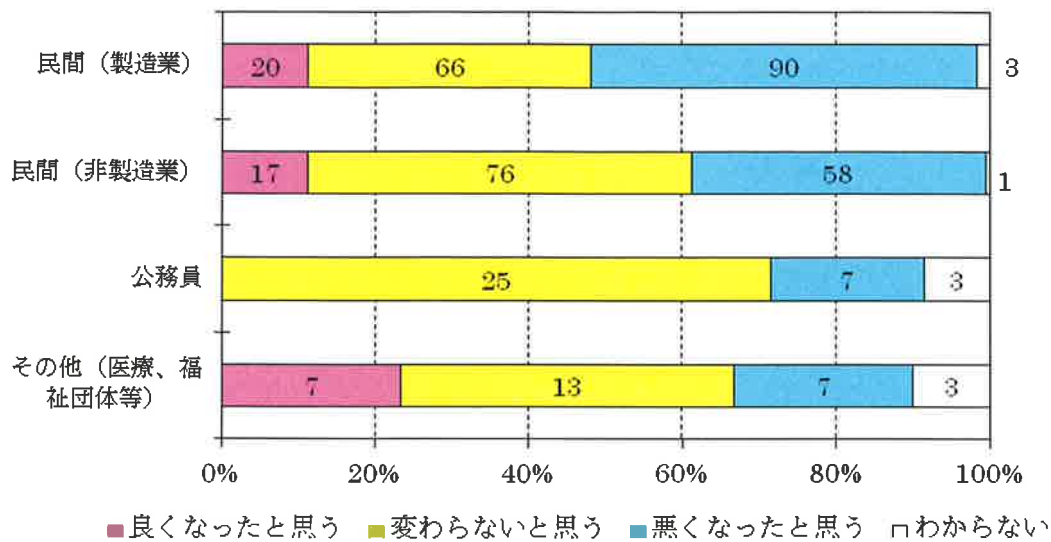


勤務地別にみた勤め先の経営状況 (1年前と比べて)

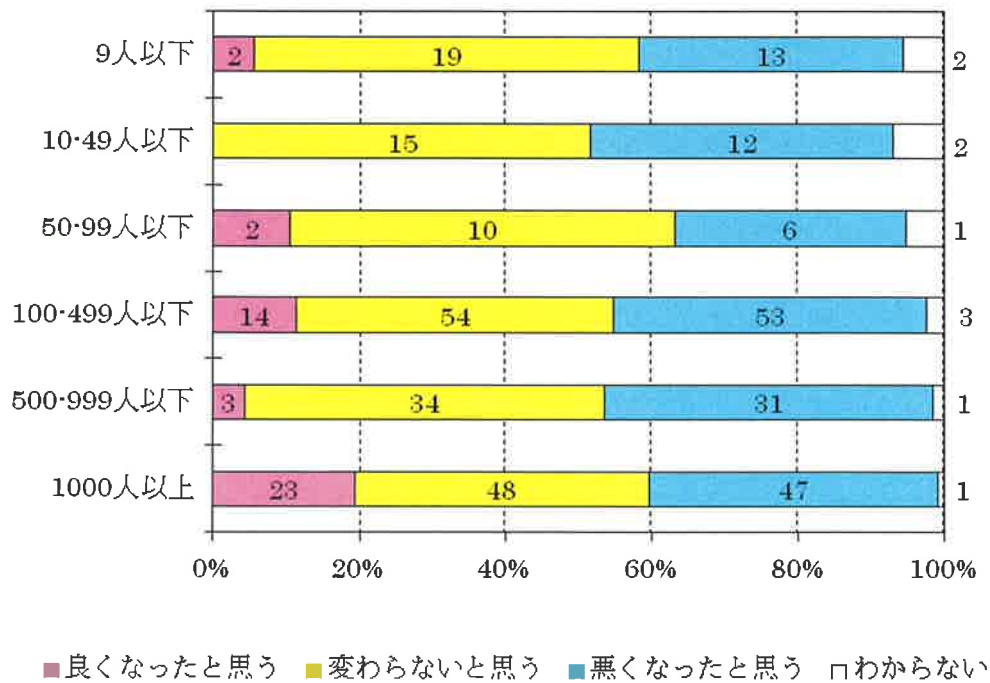


良くなったと思う ■ 変わらないと思う ■ 悪くなったと思う □ わからない

業種別にみた勤め先の経営状況（1年前と比べて）



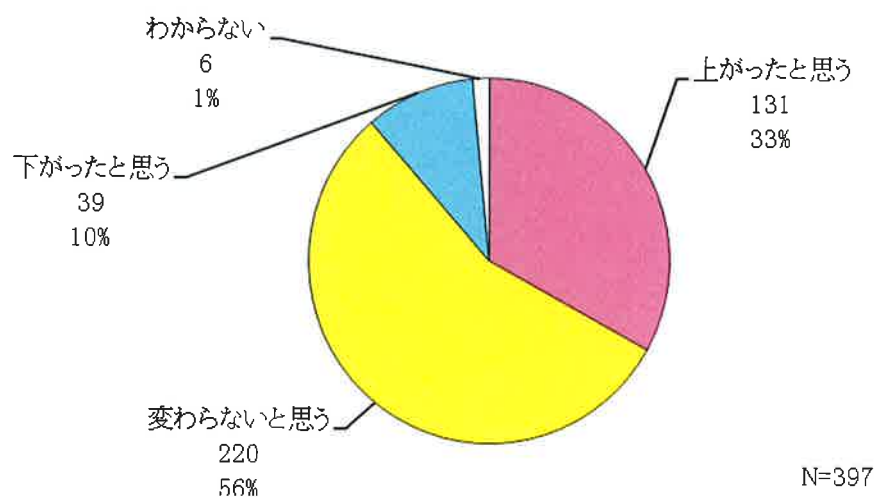
従業員数別にみた勤め先の経営状況（1年前と比べて）



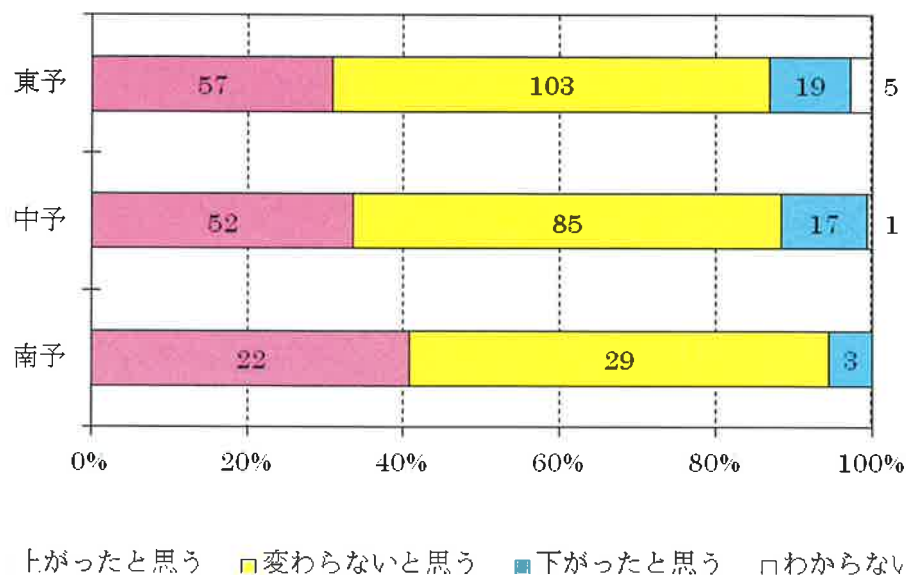
2. 物価（あなたの日常生活に関連した商品やサービスの価格）

1年前と比べて「上がったと思う」が33%であった。また「変わらないと思う」としたのが56%であった。前回調査に比べて「変わらないと思う」とする割合が若干増えている。

問2 日常生活に関連した商品やサービスの価格
(1年前と比べて)



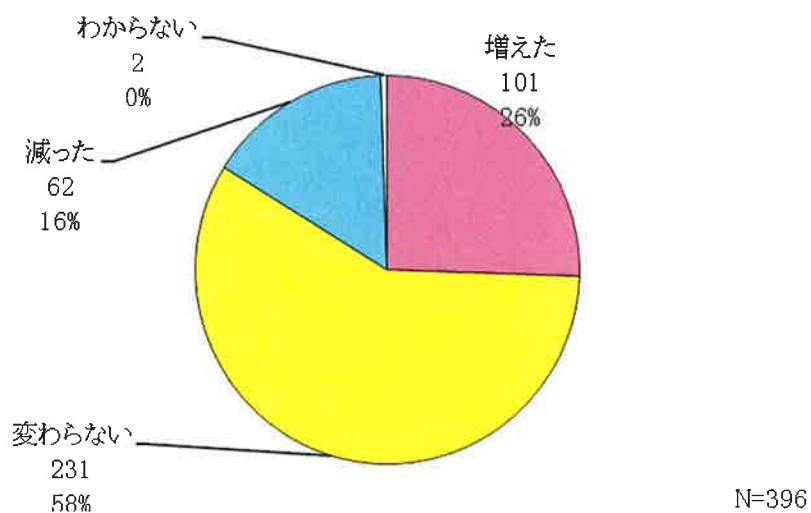
居住地別にみた物価の変化 (1年前と比べて)



3. 実労働時間

1年前と比べた最近の実労働時間については、「変わらない」が58%が最多で、「増えた」が26%、「減った」が16%であった。

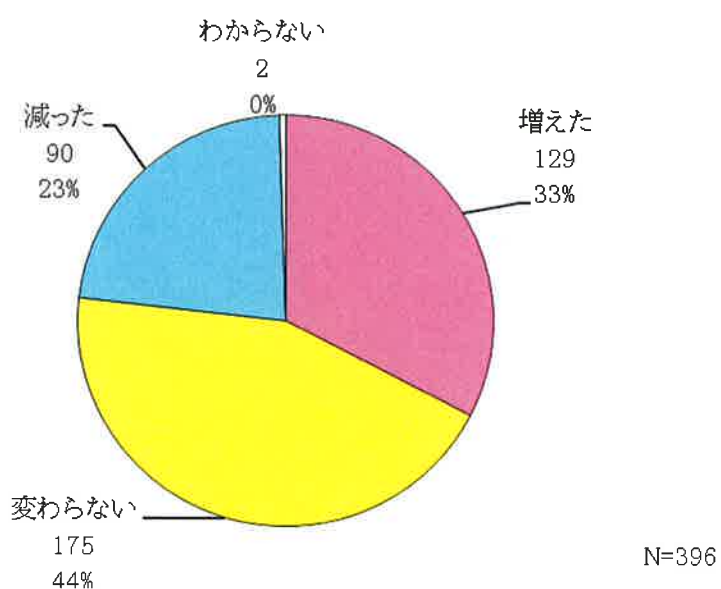
問3 最近の実労働時間（残業・休日出勤を含む）
(1年前と比べて)



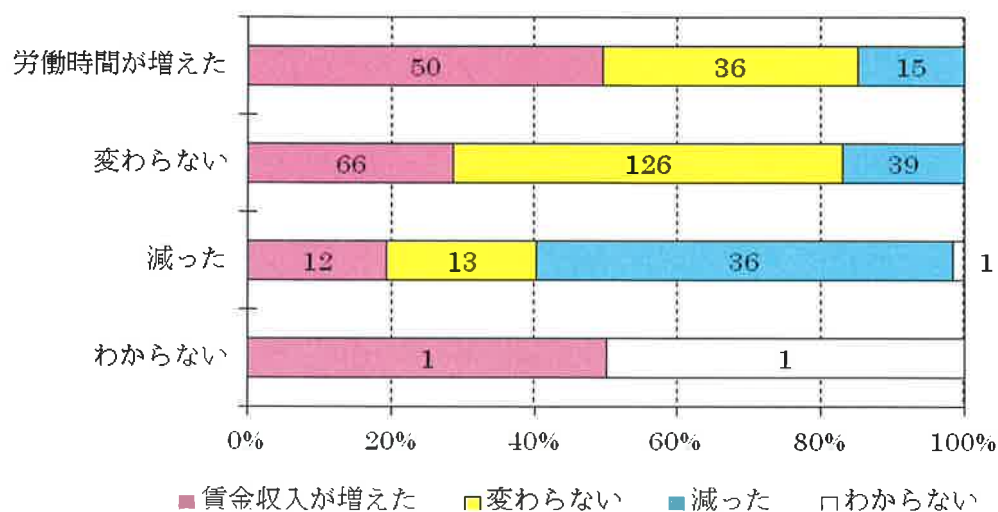
4. 賃金収入

1年前と比べて賃金収入が「変わらない」が44%で最多であった。「増えた」が33%で、「減った」の23%をやや上回った。

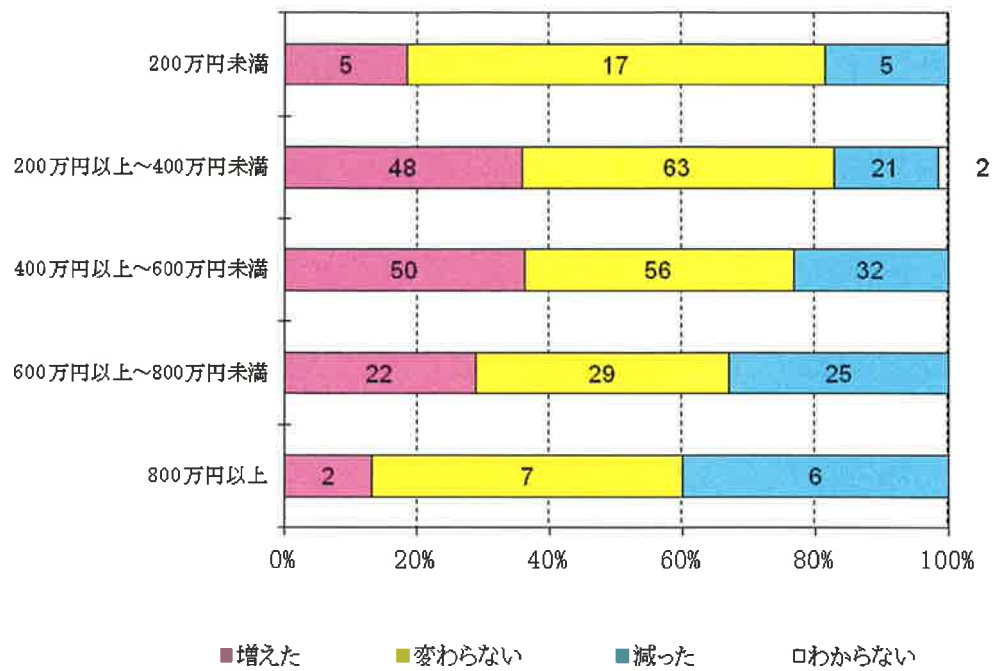
問4 あなたの賃金収入（1年前と比べて）



労働時間からみた賃金収入の変化（1年前と比べて）



年収別にみた賃金収入の変化（1年前と比べて）



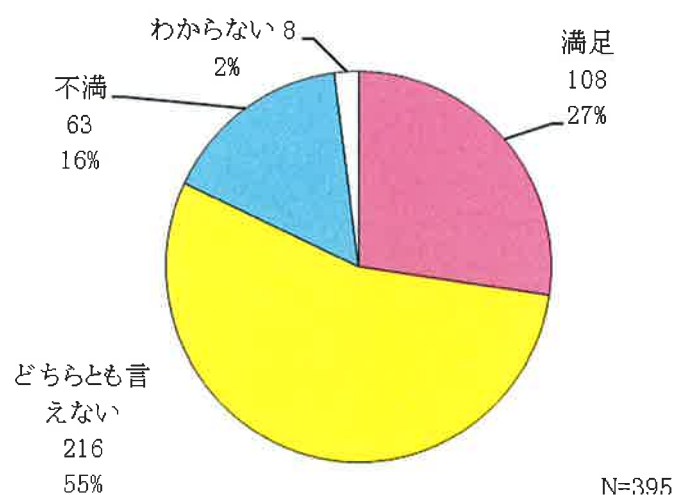
5. 勤め先の仕事の満足度

「満足」が27%であり、「不満」の16%を上回っているが、前回調査と比べて「満足」の割合が若干減り、「不満」の割合が若干増えている。

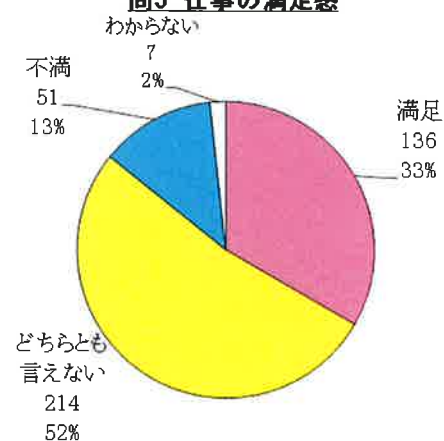
年収別にみると、年収が多い層ほど「満足」の割合が高い傾向がある。

年齢別にみると、年齢階層が上昇するにしたがって「満足」とする割合が高まる傾向がある一方、各階層に15~20%弱の「不満」とする層が存在することが確認できる。

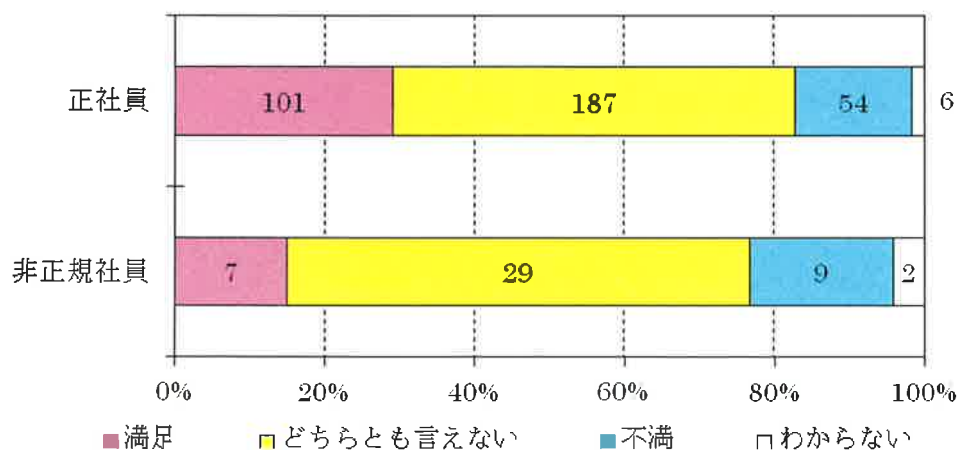
問5 仕事の満足感



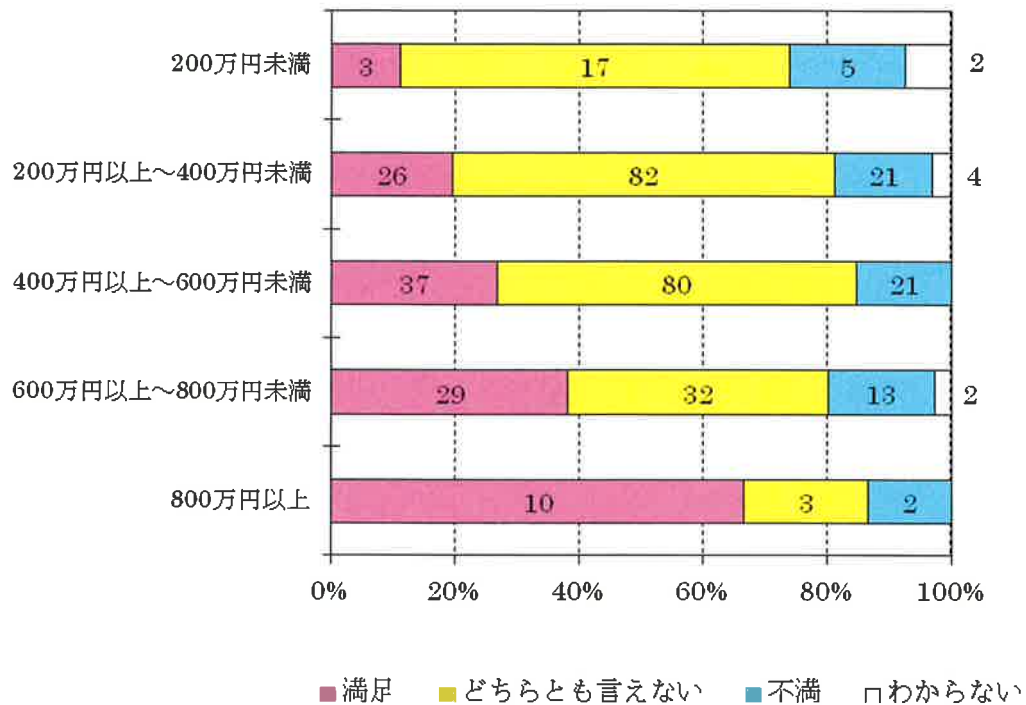
前回調査
問5 仕事の満足感



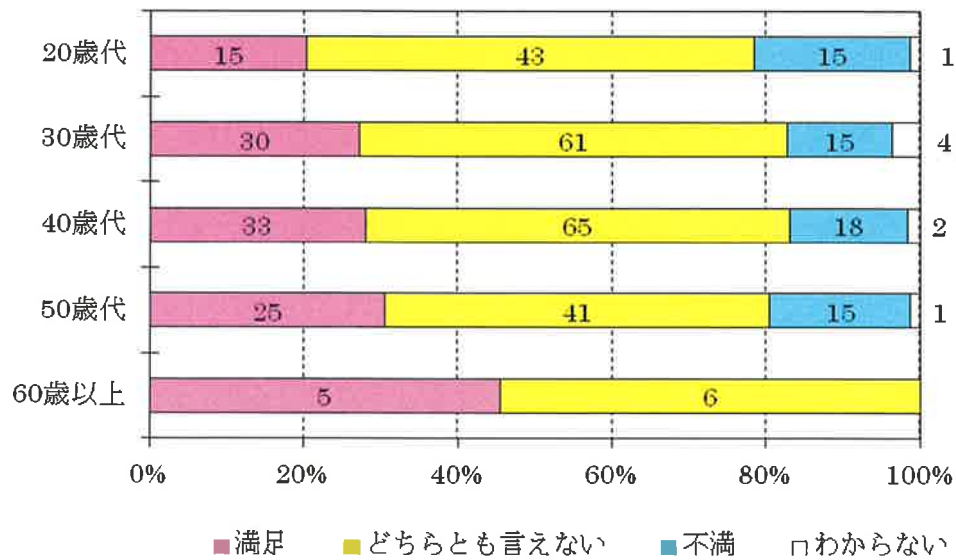
就業形態別にみた仕事の満足感



年収別にみた仕事の満足感



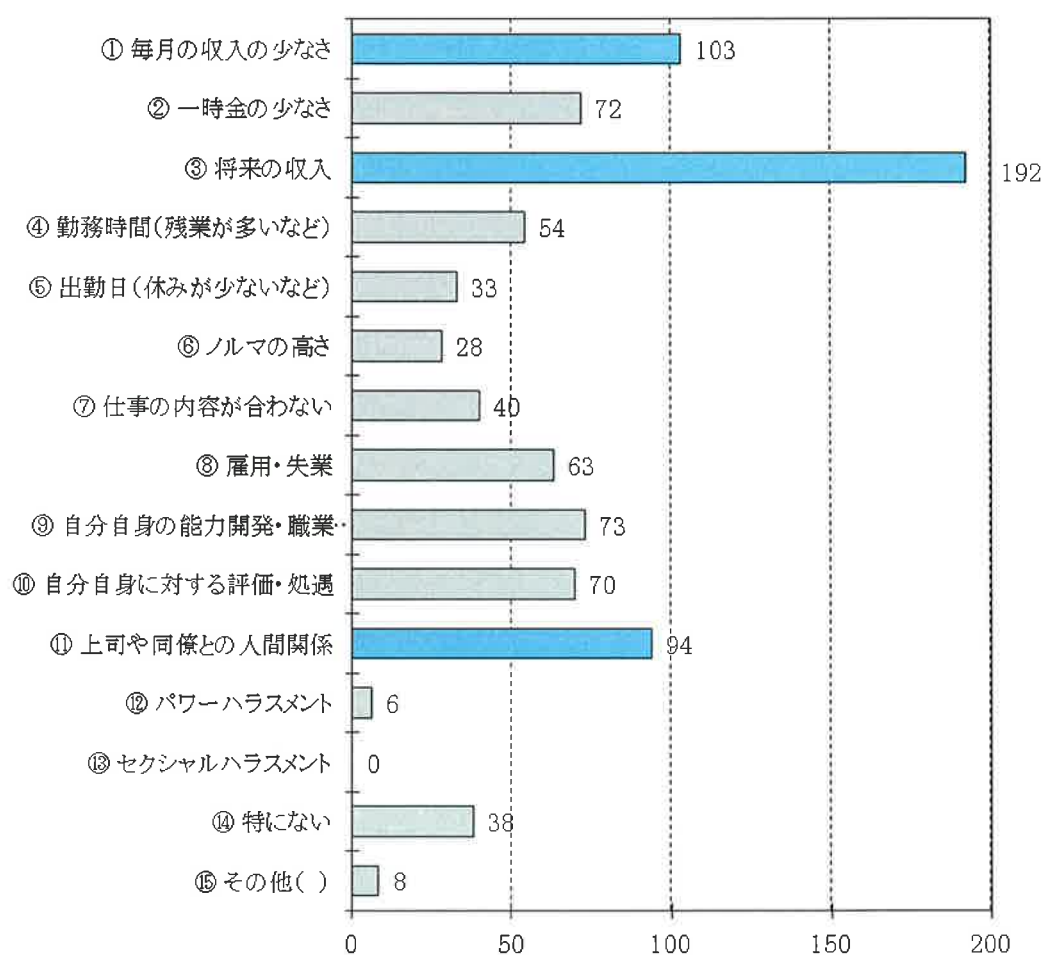
年齢別にみた仕事の満足感



6. 仕事での不安・悩み

③「将来の収入」が48.5%、①「毎月の収入の少なさ」が26.0%であり、それに⑪「上司や同僚との人間関係」が23.7%と続いている。

問6 仕事に関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)

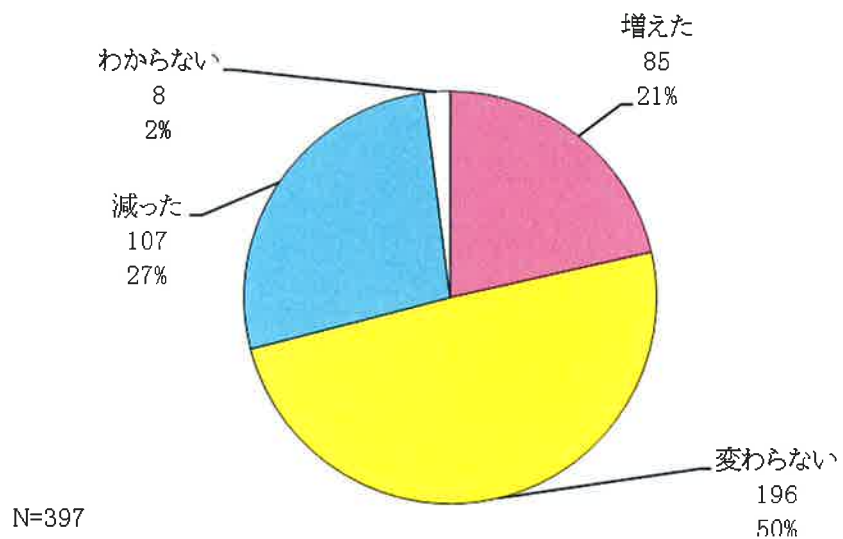


N=396

7. 世帯全体の収入

1年前と比べた世帯全体の収入は、「変わらない」が50%であった。また、「減った」が27%、「増えた」が21%で、「減った」の割合が若干高かった。

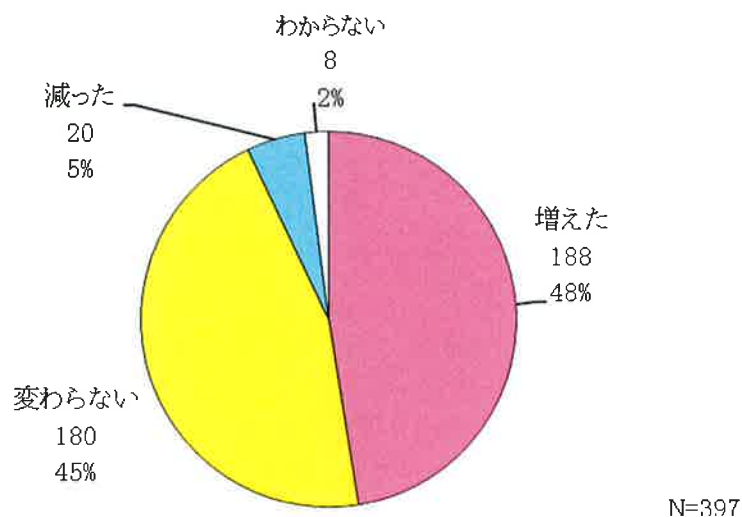
問7 世帯全体の収入（1年前と比べて）



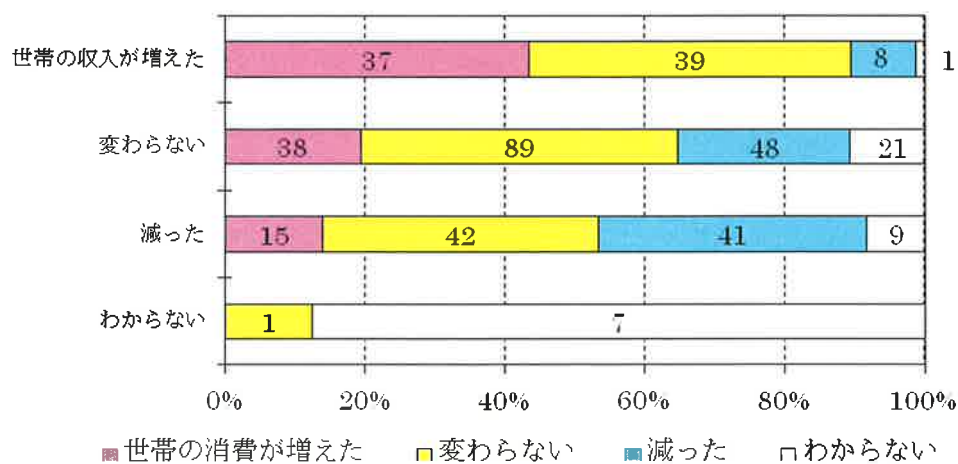
8. 世帯全体の支出

1年前に比べて、世帯の消費は、「増えた」が48%、「減った」が5%であった。勤労者世帯は、消費支出を増えたと捉えている。また世帯収入の変化と世帯消費の変化の相関であるが、収入が増えた世帯では消費も増えたとする割合が大きく、収入が減った世帯では消費も減ったとする割合が大きい。両者の関連が確認できる。

問8 世帯全体の消費（1年前と比べて）



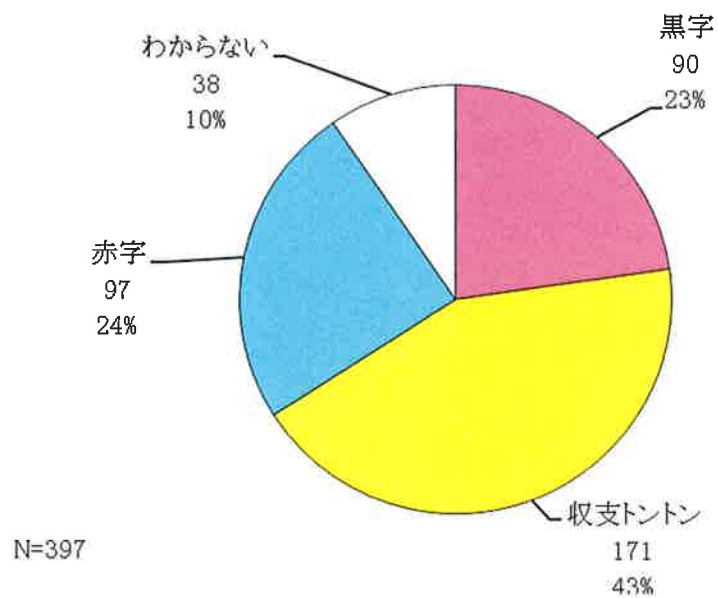
世帯収入の変化と世帯消費の変化（1年前と比べて）



9. 世帯の年間収支

世帯の年間収支は、「収支トントン」が43%で、「黒字」「赤字」はそれぞれ23%、24%であった。

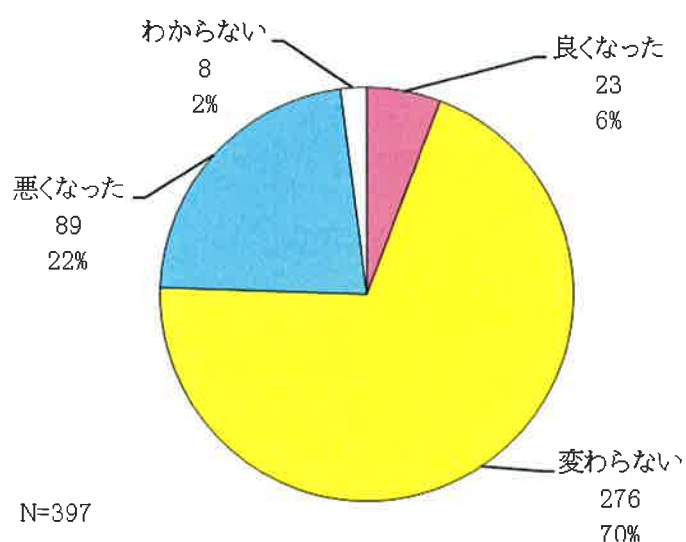
問9 1年間の世帯全体の収入



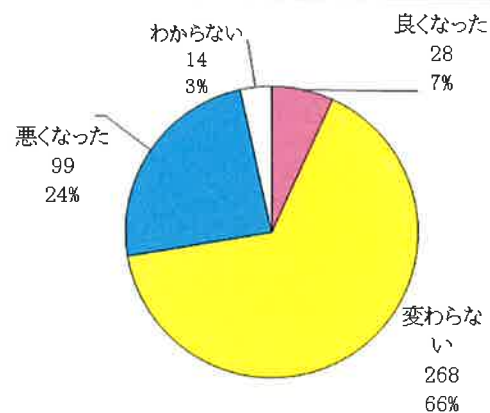
10. 世帯の暮らし向き

1年前と比べて、世帯の暮らし向きは「変わらない」が70%であるが、「悪くなった」が22%であり、「良くなった」の6%を大きく上回っている。

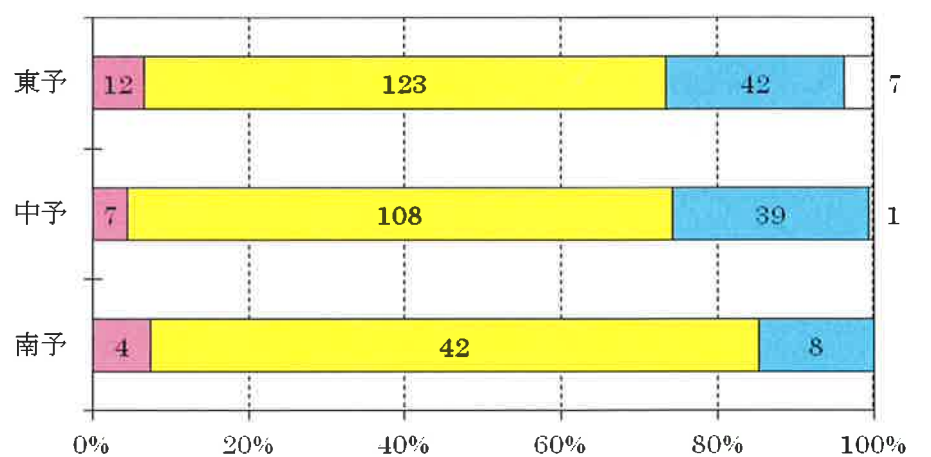
問10 世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



前回調査
問10 世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



居住地別にみた世帯の暮らし向き（1年前と比べて）



良くなったと思う ■ 変わらないと思う ■ 悪くなったと思う □ わからない

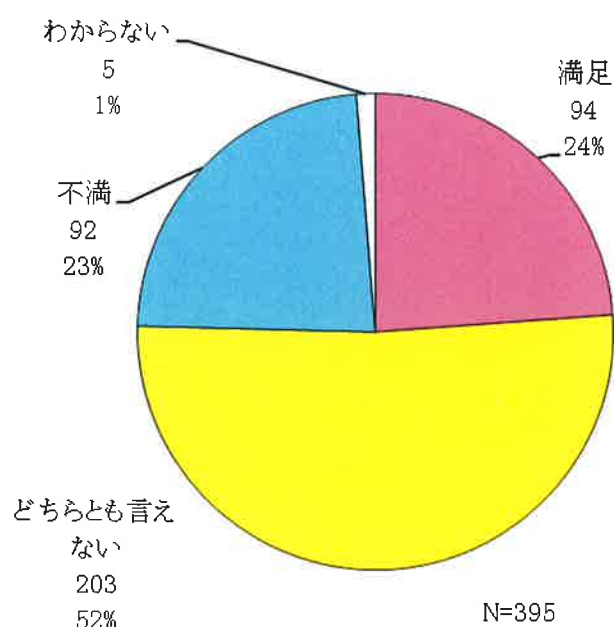
1 1. 生活の満足感

「満足」としたものが24%、「不満」としたものが23%で割合に差はなく、「どちらともいえない」としたものが52%に上った。

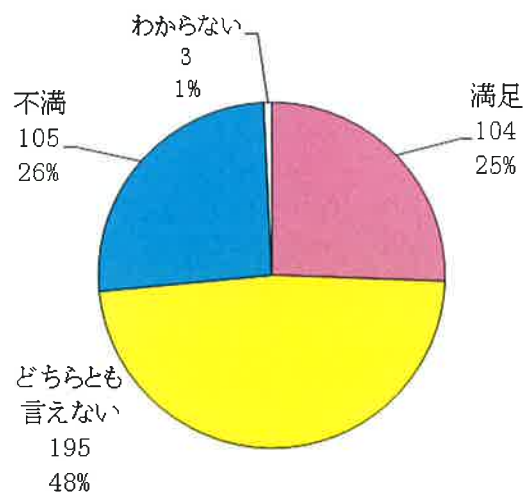
就業形態別では「満足」とするものに差がみられる。また年収別にみると、収入が増えるにしたがって満足度が上昇する傾向がみられる。また年齢別にみると、年齢が上昇するにしたがい「不満」とするものの割合が増えている。

仕事と生活の満足度についての相関を見ると、仕事に満足しているもののなかで生活に「満足」とするものの割合は50%であるが、逆に仕事に不満であるもののなかで生活に「満足」なものはわずかで、「不安」とするものが50%に迫っている。

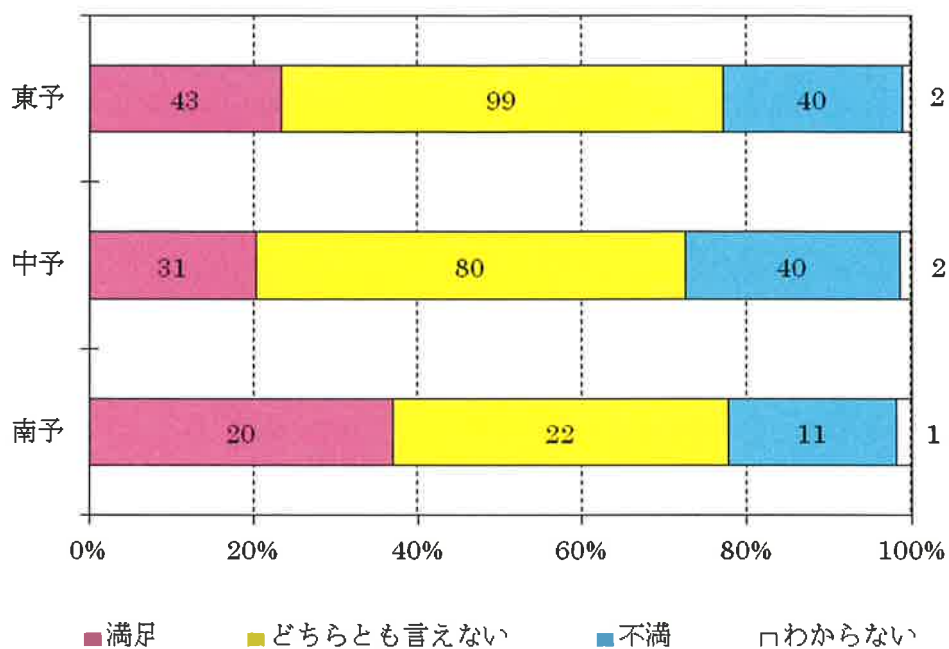
問11 生活の満足感



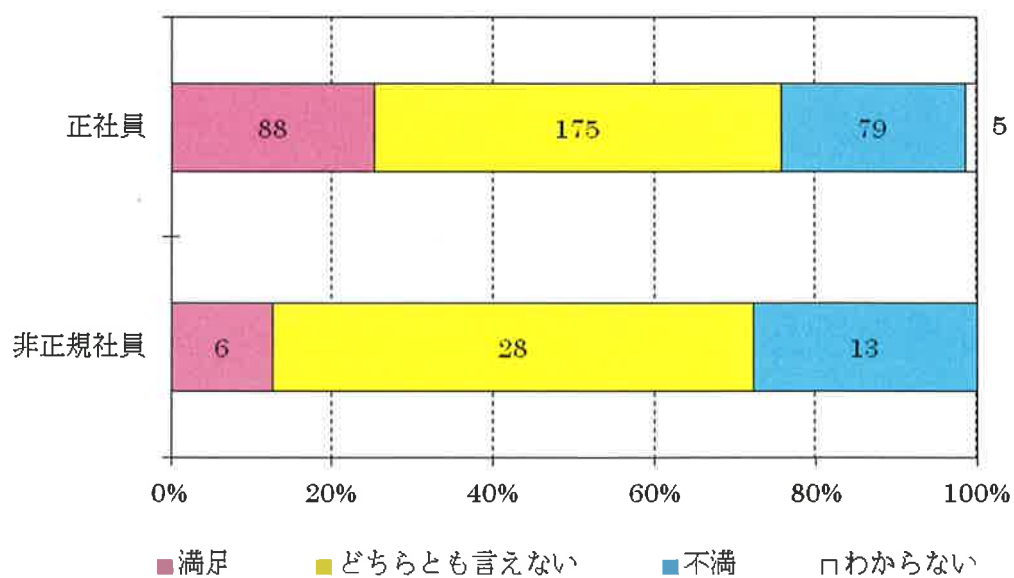
前回調査
問11 生活の満足感



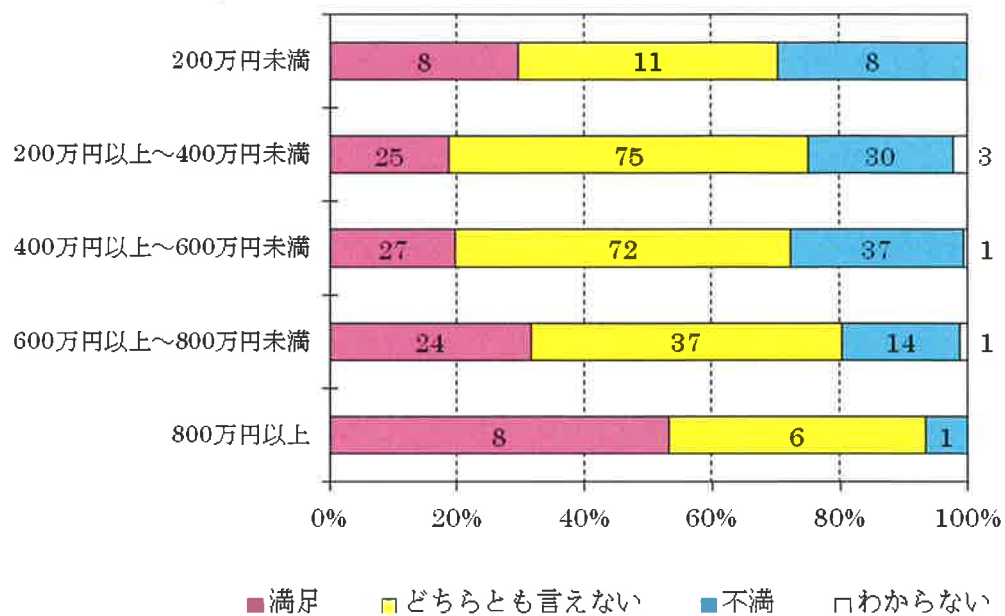
居住地別にみた生活の満足感



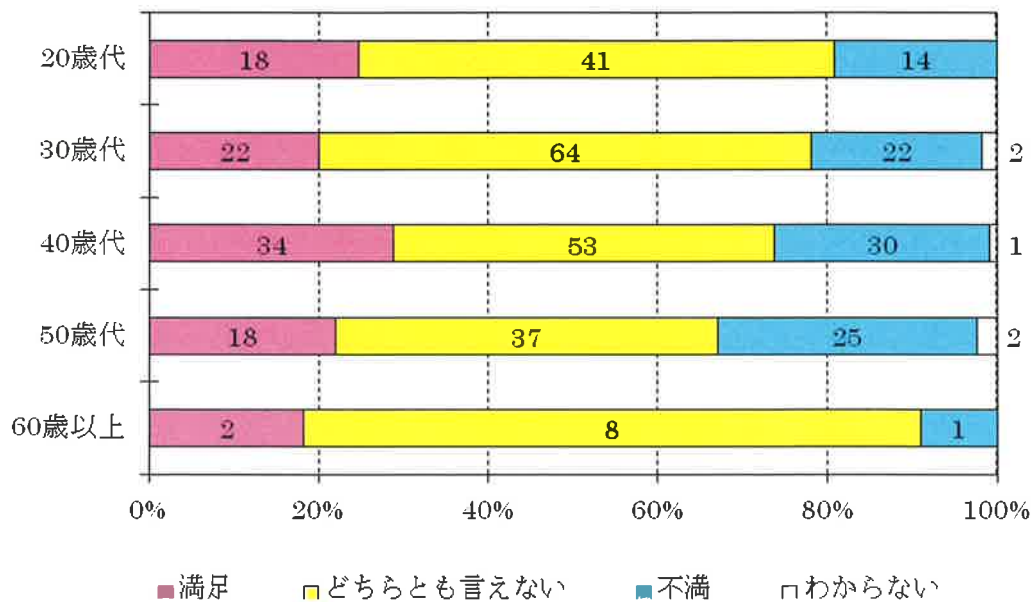
就業形態別にみた生活の満足感



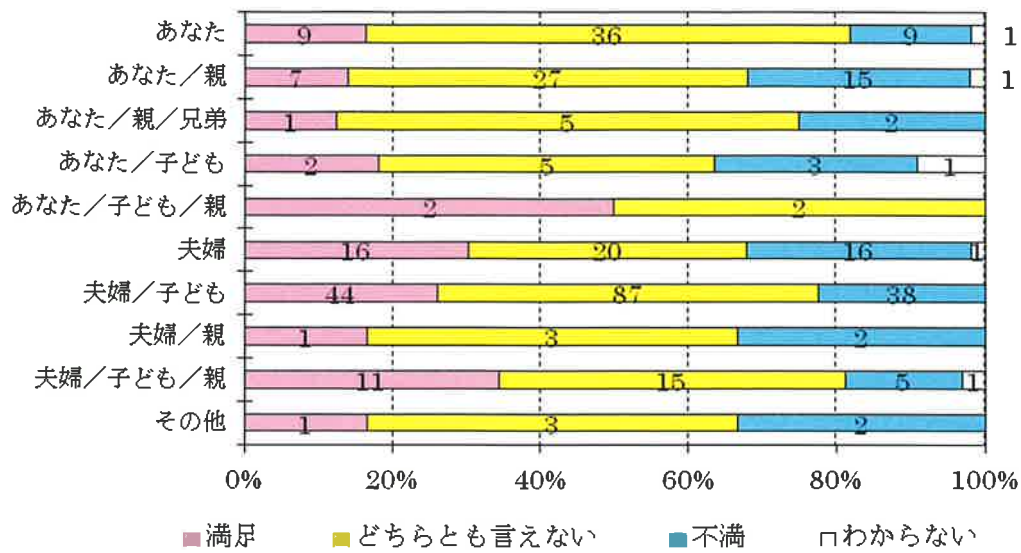
年収別にみた生活の満足感



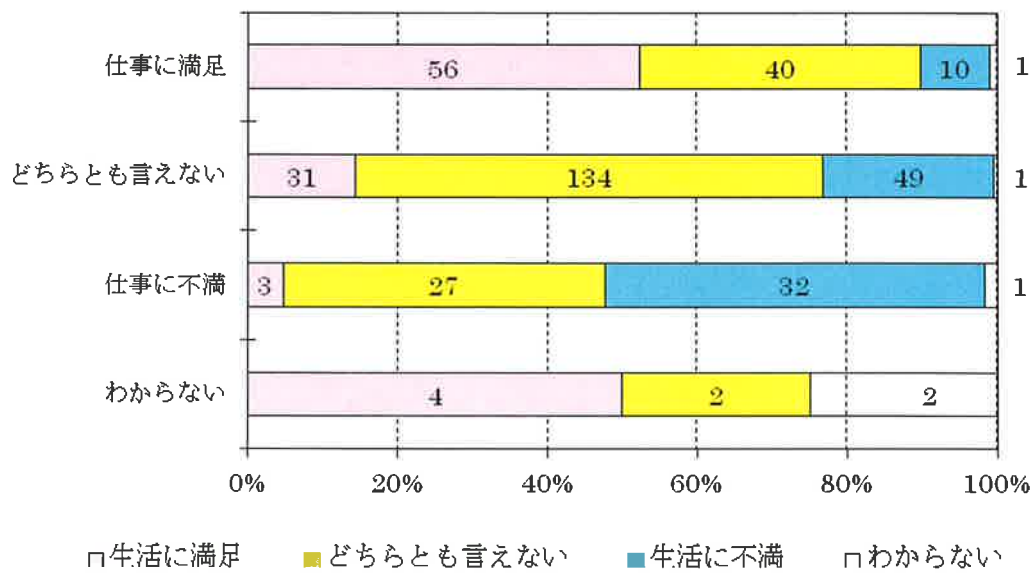
年齢別にみた生活の満足感



家族構成別にみた生活の満足感



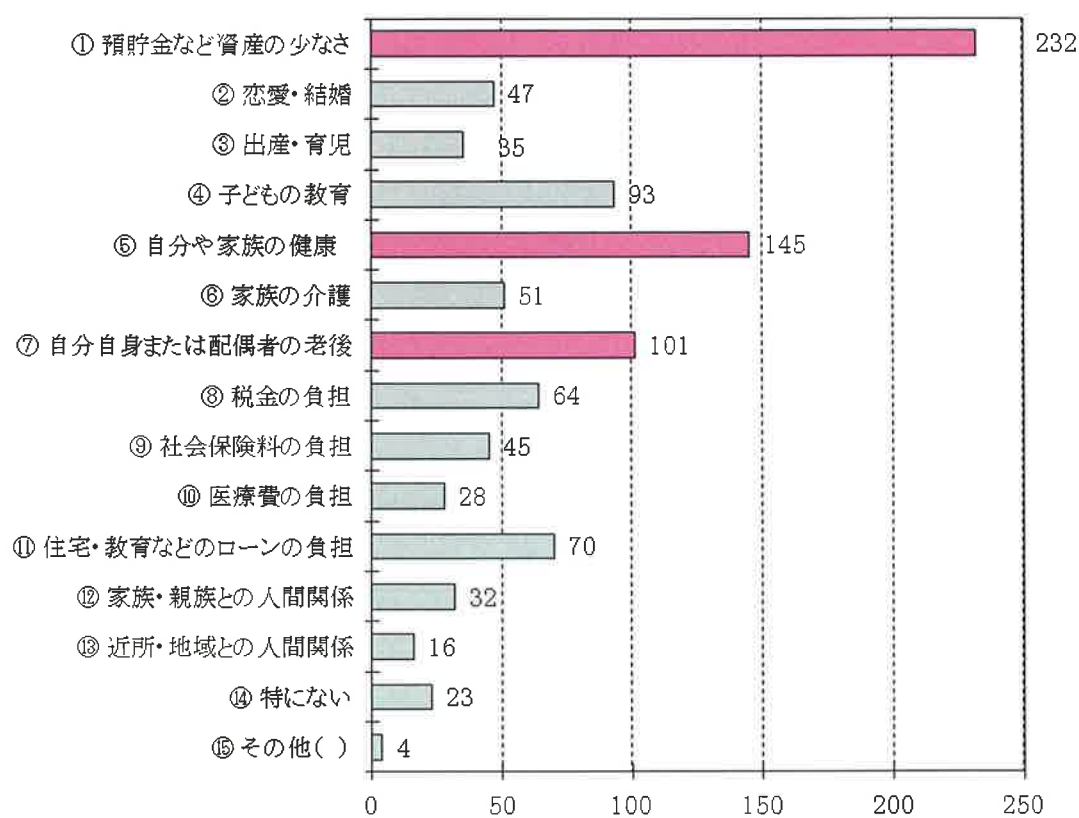
仕事の満足感と生活の満足感



12. 暮らし向きに関連した不安・悩み

①「預貯金などの資産の少なさ」が58.7%、⑤「自分や家族の健康」が36.7%、⑦「自分自身または配偶者の老後」25.6%で上位3つとなった。家計の不安が、資産の少なさ、結構、老後、教育、ローンと広がっていく状況がみられる。

問12 暮らし向きに関連して、この半年間に特に不安に思ったこと・悩んだこと
(3つまで選択可)



N=395

特別調査（四国労働金庫愛媛営業本部）

1 3. 現在利用している金融機関（4 つまで選択可）

利用している金融機関について4つまで選択できる回答のうち、「金融機関を3つ」選択した方が最も多く145人で36.6%、続いて「金融機関を2つ」が125人31.6%となっています。内訳をみると、半数以上の方が利用している金融機関は、地方銀行（89%）ろうきん（81%）郵貯（56%）となり、3つの金融機関に利用者が集中している結果となりました。ろうきんと地方銀行との利用者を比較すると、年代別で「20歳代および30歳代で約16ポイント」ろうきん利用が少なく、また、地域別比較では「中予地区で15ポイント」ろうきん利用が少ない結果となっています。

利用している金融機関(回答者の選択数)

	1つ	2つ	3つ	4つ	合計
合計	25 6.3	125 31.6	145 36.6	101 25.5	396 100.0

問13

	都市銀行	地方銀行	信託銀行	信用金庫	労働金庫	信用組合	農協・漁協	ゆうちょ銀行	外国銀行	ネット専用銀行	消費者金融	クレジット会社	その他	NA	合計
男性	41 14.2	256 88.6	5 1.7	32 11.1	240 83.0	1 0.3	55 19.0	149 51.6	2 0.7	23 8.0	1 0.3	15 5.2	1 0.3	0 0.0	289 100.0
女性	5 4.7	97 90.7	1 0.9	11 10.3	80 74.8	0 0.0	17 15.9	71 66.4	0 0.0	3 2.8	0 0.0	6 5.6	0 0.0	2 1.9	107 100.0
合計	46 11.6	353 89.1	6 1.5	43 10.9	320 80.8	1 0.3	72 18.2	220 55.6	2 0.5	26 6.6	1 0.3	21 5.3	1 0.3	2 0.5	396 100.0

問13×年齢別

	都市銀行	地方銀行	信託銀行	信用金庫	労働金庫	信用組合	農協・漁協	ゆうちょ銀行	外国銀行	ネット専用銀行	消費者金融	クレジット会社	その他	NA	合計
20歳代	8 10.8	64 86.5	1 1.4	7 9.5	52 70.3	0 0.0	7 9.5	47 63.5	1 1.4	2 2.7	0 0.0	7 9.5	1 1.4	0 0.0	74 100.0
30歳代	19 17.3	99 90.0	2 1.8	10 9.1	81 73.6	0 0.0	9 8.2	57 51.8	0 0.0	15 13.6	0 0.0	4 3.6	0 0.0	0 0.0	110 100.0
40歳代	14 11.8	107 89.9	2 1.7	18 13.4	106 89.1	0 0.0	28 23.5	59 49.6	1 0.8	6 5.0	0 0.0	4 3.4	0 0.0	1 0.8	119 100.0
50歳代	4 4.9	74 90.2	1 1.2	10 12.2	73 89.0	1 1.2	24 29.3	52 63.4	0 0.0	3 3.7	1 1.2	5 6.1	0 0.0	0 0.0	82 100.0
60歳以上	1 9.1	9 81.8	0 0.0	0 0.0	8 72.7	0 0.0	4 36.4	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	1 9.1	11 100.0

問13×居住地

	都市銀行	地方銀行	信託銀行	信用金庫	労働金庫	信用組合	農協・漁協	ゆうちょ銀行	外国銀行	ネット専用銀行	消費者金融	クレジット会社	その他	NA	合計
東予	29 15.8	157 85.3	4 2.2	17 9.2	152 82.6	1 0.5	38 20.7	95 51.6	1 0.5	19 10.3	0 0.0	11 6.0	0 0.0	0 0.0	184 100.0
中予	15 9.7	145 93.5	2 1.3	18 11.6	121 78.1	0 0.0	18 11.6	91 58.7	1 0.6	6 3.9	0 0.0	8 5.2	0 0.0	1 0.6	155 100.0
南予	2 3.7	49 90.7	0 0.0	7 13.0	45 83.3	0 0.0	13 24.1	32 59.3	0 0.0	1 1.9	0 0.0	2 3.7	1 1.9	1 1.9	54 100.0
その他	0 0.0	2 86.7	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0

1 3-1. メインバンクとして利用している金融機関

1 3で回答された利用している金融機関のうちメインバンクとして利用している金融機関は、地方銀行が208人で全体の53%を占めており、地元の伊予銀行・愛媛銀行等を中心に選択されている状況が伺えます。ろうきんは62人で全体の16%となりました。ろうきんメイン利用者を詳しくみると、男女別で女性が22.4%となり男性を9.3ポイント上回っており、年代別比率では50歳代が24.4%と最も高く30歳代が10.9%で最も低い結果となり、従業員規模では50名未満の企業でのメインバンク率が高い状況です。

問13-1×全体・男女別

	都市銀行	地方銀行	信託銀行	信用金庫	労働金庫	信用組合	農協・漁協	ゆうちょ銀行	外国銀行	ネット専用銀行	消費者金融	クレジット会社	その他	NA	合計
男性	11 3.8	161 55.7	0 0.0	7 2.4	38 13.1	0 0.0	10 3.5	23 8.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.3	37 12.8	289 100.0
女性	4 3.7	47 43.9	0 0.0	0 0.0	24 22.4	0 0.0	1 0.9	6 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 23.4	107 100.0
合計	15 3.8	208 52.5	0 0.0	7 1.8	62 15.7	0 0.0	11 2.8	29 7.3	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.3	62 15.7	396 100.0

問13-1×年齢

	都市銀行	地方銀行	信託銀行	信用金庫	労働金庫	信用組合	農協・漁協	ゆうちょ銀行	外国銀行	ネット専用銀行	消費性金融	クレジット会社	その他	NA	合計
20歳代	1	43	0	0	11	0	2	9	0	0	0	0	1	7	74
	1.4	58.1	0.0	0.0	14.9	0.0	2.7	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	9.5	100.0
30歳代	8	59	0	2	12	0	2	7	0	1	0	0	0	19	110
	7.3	53.6	0.0	1.8	10.9	0.0	1.8	6.4	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	17.3	100.0
40歳代	5	59	0	2	17	0	6	6	0	0	0	0	0	24	119
	4.2	49.6	0.0	1.7	14.3	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.2	100.0
50歳代	1	40	0	3	20	0	1	7	0	0	0	0	0	10	82
	1.2	48.8	0.0	3.7	24.4	0.0	1.2	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.2	100.0
60歳以上	0	7	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11
	0.0	63.6	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	100.0

問13-1×従業員数

	都市銀行	地方銀行	信託銀行	信用金庫	労働金庫	信用組合	農協・漁協	ゆうちょ銀行	外国銀行	ネット専用銀行	消費性金融	クレジット会社	その他	NA	合計
9人以下	2	15	0	0	10	0	1	0	0	0	0	0	0	8	36
	5.6	41.7	0.0	0.0	27.8	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	100.0
10~49人	0	6	0	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	7	29
	0.0	20.7	0.0	6.9	48.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.1	100.0
50~99人	1	13	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	19
	5.3	68.4	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	100.0
100~499人	3	66	0	2	20	0	3	8	0	1	0	0	1	20	124
	2.4	53.2	0.0	1.6	16.1	0.0	2.4	6.5	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	16.1	100.0
500~999人	7	41	0	0	7	0	4	2	0	0	0	0	0	8	69
	10.1	59.4	0.0	0.0	10.1	0.0	5.8	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.6	100.0
1000人以上	2	67	0	3	11	0	2	16	0	0	0	0	0	18	119
	1.7	56.3	0.0	2.5	9.2	0.0	1.7	13.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.1	100.0

14. メインバンクとして利用する金融機関の選択理由（4つまで選択）

14-1. メインバンクとして利用する理由の決め手

メインバンクとして選択する理由は、「店舗ATMの立地・利用条件が良い」「給与振込の指定金融機関だから」「金利・手数料の利用条件」の3項目に回答が集中しました。それら回答の中から、決め手となった理由として一つ選んでいただくと、「店舗ATMの立地」34.8%と「給振指定」25.8%の二つが6割を超えています。

13-1で回答されているメインバンクとクロス集計してみると、地方銀行をメインバンクとしている方は、上記とほぼ同様の傾向があると考えられます。

一方、メインバンクがろうきんの回答者（Q13-1）の選択理由では、「給振指定」が66.1%で、以下「金利・手数料等の条件がよい」51.6%「職員の感じがよい」21%が続き、「店舗ATMの立地」に関しては17.7%で4番目となりました。

問14×性別

	商品・サービスが充実しているから	商品・サービスの説明が分かりやすいから	金利・手数料等の条件が良いから	店舗・ATMの立地・利用条件が良いから	会社の給振指定の金融機関だから	融資に際して弾力的に対応してくれるから	相談サービスが充実しているから	手続きが確実でないから	職員の感じがよいから	会社のイメージが良いから	会社の経営に安心感があるから	プライバシー保護に安心感があるから	特に理由は無い	その他	NA	合計
男性	33	12	61	164	130	15	14	28	19	27	43	2	34	16	1	289
	11.4	4.2	21.1	56.7	45.0	5.2	4.8	9.7	6.6	9.3	14.9	0.7	11.8	5.5	0.3	100.0
女性	9	2	30	60	49	3	7	8	13	10	12	1	8	11	2	107
	8.4	1.9	28.0	56.1	45.8	2.8	6.5	7.5	12.1	9.3	11.2	0.9	7.5	10.3	1.9	100.0
合計	42	14	91	224	179	18	21	36	32	37	55	3	42	27	3	396
	10.6	3.5	23.0	56.6	45.2	4.5	5.3	9.1	8.1	9.3	13.9	0.8	10.6	6.8	0.8	100.0

問14-1×性別

	商品・サービスが充実しているから	商品・サービスの説明が分かりやすいから	金利・手数料等の条件が良いから	店舗・ATMの立地・利用条件が良いから	会社の給振指定の金融機関だから	融資に際して弾力的に対応してくれるから	相談サービスが充実しているから	手続きが確実でないから	職員の感じがよいから	会社のイメージが良いから	会社の経営に安心感があるから	プライバシー保護に安心感があるから	特に理由は無い	その他	NA	合計
男性	6	0	20	102	71	2	3	2	3	6	9	0	34	13	18	289
	2.1	0.0	6.9	35.3	24.6	0.7	1.0	0.7	1.0	2.1	3.1	0.0	11.8	4.5	6.2	100.0
女性	0	1	2	36	31	2	2	2	1	0	3	0	8	9	10	107
	0.0	0.9	1.9	33.6	29.0	1.9	1.9	1.9	0.9	0.0	2.8	0.0	7.5	8.4	9.3	100.0
合計	6	1	22	138	102	4	5	4	4	6	12	0	42	22	28	396
	1.5	0.3	5.6	34.8	25.8	1.0	1.3	1.0	1.0	1.5	3.0	0.0	10.6	5.6	7.1	100.0

メインバンクが地方銀行の者(問13-1)×問14

	商品・サービスが充実しているから	商品・サービスの説明が分かりやすいから	金利・手数料等の条件が良いから	店舗・ATMの立地・利用条件が良いから	会社の給振指定の金融機関だから	融資に際して弾力的に対応してくれるから	相談サービスが充実しているから	手続きが確実でないから	職員の感じがよいから	会社のイメージが良いから	会社の経営に安心感があるから	プライバシー保護に安心感があるから	特に理由は無い	その他	合計
地方銀行	12	6	24	138	90	2	3	18	10	21	29	2	25	13	268
	5.8	2.9	11.5	68.3	43.3	1.0	1.4	8.7	4.8	10.1	13.9	1.0	12.0	6.3	100.0

メインバンクが労働金庫の者(問13-1)×問14

	商品・サービスが充実しているから	商品・サービスの説明が分かりやすいから	金利・手数料等の条件が良いから	店舗・ATMの立地・利用条件が良いから	会社の給振指定の金融機関だから	融資に際して弾力的に対応してくれるから	相談サービスが充実しているから	手続きが確実でないから	職員の感じがよいから	会社のイメージが良いから	会社の経営に安心感があるから	プライバシー保護に安心感があるから	特に理由は無い	その他	合計
労働金庫	9	0	32	11	41	10	8	7	13	4	8	1	1	4	62
	14.5	0.0	51.6	17.7	66.1	16.1	12.9	11.3	21.0	6.5	12.9	1.6	1.6	6.5	100.0

15. ろうきんで利用・契約している商品・サービス（いくつでも選択可）

給振指定の受け皿として、ろうきん利用のベースとなる普通預金の契約者は、300 人 75.8%の契約率となりました。預金の重点商品である財形預金の契約者は、213 人 53.8%の契約率となり、続いて定期預金の利用者が 136 人 34.3%、カードローンの契約者が 82 人 20.7%となります。一方ろうきんの未利用者が 30 人 7.6%で、女性での割合(12.1%)が高い結果になっています。

年代別の状況では、20 歳代の契約が財形（44.6%）、カードローン（12.2%）、定期預金（18.9%）となっており、全体平均を大幅に下回り、利用していない人も 16.2%となっています。しかし、自動車ローンの利用者は 12.2%となり、50 歳代に次いで多い利用状況です。

問15×性別

	普通預金 (貯金)	定期預金 (貯金)	財形預金 (貯金)	その他預金 (貯金)	住宅ローン	自動車ローン	教育ローン	カードローン	その他ローン	インターネット バンキング	振込、税金・ 各種料金払込	利用して いない	その他	NA	合計
男性	223	89	157	48	54	35	21	67	18	46	45	17	1	0	289
女性	77.2	30.8	54.3	16.6	18.7	12.1	7.3	23.2	6.2	15.9	15.6	5.9	0.3	0.0	100.0
	77	47	56	25	14	5	1	15	0	16	31	13	3	2	107
	72.0	43.9	52.3	23.4	13.1	4.7	0.9	14.0	0.0	15.0	29.0	12.1	2.8	1.9	100.0
合計	300	136	213	73	68	40	22	82	18	62	76	30	4	2	396
	75.8	34.3	53.8	18.4	17.2	10.1	5.6	20.7	4.5	15.7	19.2	7.6	1.0	0.5	100.0

問15×年齢別

	普通預金 (貯金)	定期預金 (貯金)	財形預金 (貯金)	その他預金 (貯金)	住宅ローン	自動車ローン	教育ローン	カードローン	その他ローン	インターネット バンキング	振込、税金・ 各種料金払込	利用して いない	その他	NA	合計
20歳代	50	14	33	7	2	9	0	9	1	10	7	12	2	0	74
30歳代	67.6	18.9	44.6	9.5	2.7	12.2	0.0	12.2	1.4	13.5	9.5	16.2	2.7	0.0	100.0
40歳代	80	32	60	15	17	7	0	17	3	21	19	9	1	0	110
50歳代	72.7	29.1	54.5	13.6	15.5	6.4	0.0	15.5	2.7	19.1	17.3	8.2	0.9	0.0	100.0
60歳以上	93	43	62	25	31	13	9	26	8	22	20	4	1	1	119
	78.2	36.1	52.1	21.0	26.1	10.9	7.6	21.8	6.7	18.5	16.8	3.4	0.8	0.8	100.0
	69	44	55	24	17	11	13	28	6	9	26	3	0	0	82
	84.1	53.7	67.1	29.3	20.7	13.4	15.9	34.1	7.3	11.0	31.7	3.7	0.0	0.0	100.0
	8	3	3	2	1	0	0	2	0	0	4	2	0	1	11
	72.7	27.3	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	36.4	18.2	0.0	9.1	100.0

16. ろうきん利用のきっかけとなった理由（3つまで選択）

16-1. ろうきん利用の決め手となった理由

利用のきっかけについては、「組合からの勧め」が 270 人 68.2%と最も多く、続いて「勤労者のための金融機関」が 148 人 37.4%、「手続きが簡単」が 87 人 22%となりました。それら回答の中から、決め手となった理由として一つ選んでいただいた際も、ほぼ同様の結果となっています。

年代別の比較では、「組合からの勧め」が 20～40 歳代で 70%を超え、30 歳代が最も多くなっています。「勤労者のための金融機関」は 50 歳代で 57.3%、40～30 歳代で 30%台、20 歳代では 20%台と、若年になるほど減少しており、また「手続きが簡単」も前項目と同じ傾向がありますが、特に 20 歳代では 5%台と著しく低くなっています。

問16×性別

	勤労者のための金融機関だから	組合から勧められたから	上司・同僚などから勧められたから	営業担当者から勧められたから	金利条件等が優れているから	経営が健全だから	金融・サービスが充実しているから	手続き等が簡単だから（組合を理由するから）	キャッシュバックなどでトクだから	その他	NA	合計
男性	116	217	13	17	46	25	17	68	37	17	1	289
女性	40.1	75.1	4.5	5.9	15.9	8.7	5.9	23.5	12.8	5.9	0.3	100.0
	32	53	7	10	10	1	6	19	20	26	3	107
	29.9	49.5	8.5	9.3	9.3	0.9	5.6	17.8	18.7	24.3	2.8	100.0
合計	148	270	20	27	56	26	23	87	57	43	4	396
	37.4	68.2	5.1	6.8	14.1	6.6	5.8	22.0	14.4	10.9	1.0	100.0

性別と問16-1のクロス表

	勤労者のための金融機関だから	組合から勧められたから	上司・同僚などから勧められたから	営業担当者から勧められたから	金利条件等が優れているから	経営が健全だから	金融・サービスが充実しているから	手続き等が簡単だから（組合を理由するから）	キャッシュバックなどでトクだから	その他	NA	合計
男性	56	162	0	2	11	4	2	19	5	17	11	289
女性	19.4	56.1	0.0	0.7	3.8	1.4	0.7	6.6	1.7	5.9	3.8	100.0
	9	37	4	4	3	0	1	11	5	26	7	107
	8.4	34.6	3.7	3.7	2.8	0.0	0.9	10.3	4.7	24.3	6.5	100.0
合計	65	199	4	6	14	4	3	30	10	43	18	396
	16.4	50.3	1.0	1.5	3.5	1.0	0.8	7.6	2.5	10.9	4.5	100.0

問16×年齢別

	貯蓄者のための金融機関から	組合から勧められたから	上司・同僚などから勧められたから	営業担当者から勧められたから	金利条件等が優れているから	経営が健全だから	金融・サービスが充実しているから	手続等が簡単だから	キャッシュバックなどで（組合を経由するから）	その他	NA	合計
20歳代	17	52	9	3	8	2	3	4	9	13	0	74
	23.0	70.3	12.2	4.1	10.8	2.7	4.1	5.4	12.2	17.6	0.0	100.0
30歳代	35	79	4	11	15	7	7	20	14	11	0	110
	31.8	71.8	3.6	10.0	13.6	6.4	6.4	18.2	12.7	10.0	0.0	100.0
40歳代	44	84	2	8	18	6	6	34	16	13	2	119
	37.0	70.6	1.7	6.7	15.1	5.0	5.0	28.6	13.4	10.9	1.7	100.0
50歳代	47	52	5	5	12	10	6	28	13	4	1	82
	57.3	63.4	6.1	6.1	14.6	12.2	7.3	34.1	15.9	4.9	1.2	100.0
60歳以上	5	3	0	0	3	1	1	1	5	2	1	11
	45.5	27.3	0.0	0.0	27.3	9.1	9.1	9.1	45.5	18.2	9.1	100.0

17. ろうきんキャッシュカード利用の際の認知度について（いくつでも選択可）

ろうきんキャッシュカード利用について認知度は、「他金融機関での利用」が295人74.5%、「コンビニでの利用」が214人54%と半数を超えていますが、「郵貯での利用」は134人33.8%で3分の1程度しか知られていない状況でした。また、「どれも知らない」「NA」の方が78人19.7%で、他金融機関等でのカード利用に関して2割程度の方が知らない状況です。

年代別では、「どれも知らない」「NA」が20～30歳代で20%を超え、40歳代以上より認知度が低く、反面、20歳代は「デビットカードの取扱店での代金支払い」「イトーヨーカードー・セブンイレブンATM」の利用について高い認知度を示しています。

問17①

	他の金融機関のATMでの預金引き出し	コンビニATMでの預金引き出し	デビットカード取扱店で預金の支払い	ゆうちょ銀行ATMでの預金・引き出し	イトーヨーカードー・セブンイレブンATMでの預金・引き出し	どれも知らない	NA	合計
男性	222	182	28	91	40	46	4	289
	76.8	56.1	9.7	31.5	13.8	15.9	1.4	100.0
女性	73	52	20	43	19	25	3	107
	58.2	48.6	18.7	40.2	17.8	23.4	2.8	100.0
合計	295	214	48	134	59	71	7	396
	74.5	54.0	12.1	33.8	14.9	17.9	1.8	100.0

問17×年齢別

	他の金融機関のATMでの預金引き出し	コンビニATMでの預金引き出し	デビットカード取扱店で預金の支払い	ゆうちょ銀行ATMでの預金・引き出し	イトーヨーカードー・セブンイレブンATMでの預金・引き出し	どれも知らない	NA	合計
20歳代	42	41	12	27	13	20	0	74
	56.8	55.4	16.2	36.5	17.6	27.0	0.0	100.0
30歳代	82	54	12	32	13	23	1	110
	74.5	49.1	10.9	29.1	11.8	20.9	0.9	100.0
40歳代	96	84	13	36	15	16	3	119
	80.7	53.8	10.9	30.3	12.6	13.4	2.5	100.0
50歳代	66	47	10	34	16	11	2	82
	80.5	57.3	12.2	41.5	19.5	13.4	2.4	100.0
60歳以上	9	8	1	5	2	1	1	11
	81.8	72.7	9.1	45.5	18.2	9.1	9.1	100.0

第2回 愛媛県勤労者短観調査 回答者属性

アンケート回収数	399
----------	-----

性別	人	%
男性	289	72.4
女性	107	26.8
NA	3	0.8

年齢構成	人	%
20歳代	74	18.5
30歳代	110	27.6
40歳代	119	29.8
50歳代	82	20.6
60歳以上	11	2.8
NA	3	0.8

家族構成	人	%
1..あなた(①)	56	14.0
2..あなた/親(①④)	50	12.5
3..あなた/親/その他(兄弟)(①④⑤)	8	2.0
4..あなた/子ども(①③)	11	2.8
5..あなた/子ども/親(①③④)	4	1.0
6..夫婦(①②)	53	13.3
7..夫婦/子ども(①②③)	170	42.6
8..夫婦/親(①②④)	6	1.5
9..夫婦/子ども/親(①②③④)	32	8.0
10..その他(それ以外の組み合わせ)	6	1.5
NA	3	0.8

居住地	人	%
東予	184	46.1
中予	155	38.8
南予	54	13.5
その他	3	0.8
NA	3	0.8

勤務地	人	%
東予	183	45.9
中予	159	39.8
南予	51	12.8
その他	3	0.8
NA	3	0.8

従業員数	人	%
9人以下	36	9.0
10～49人	29	7.3
50～99人	19	4.8
100～499人	124	31.1
500～999人	69	17.3
1000人以上	119	29.8
NA	3	0.8

業種	人	%
民間製造業	179	44.9
民間非製造業	152	38.1
公務員	35	8.8
その他(医療、福祉団体等)	30	7.5
NA	3	0.8

就業形態	人	%
正規	349	87.5
非正規	47	11.8
NA	3	0.8

労働時間	人	%
20時間未満	11	2.8
20～30時間未満	15	3.8
30～40時間未満	74	18.5
40時間	63	15.8
41～50時間未満	159	39.8
50～60時間未満	50	12.5
60時間以上	24	6.0
NA	3	0.8

年収	人	%
200万円未満	27	6.8
200万円～400万円未満	134	33.6
400～600万円未満	138	34.6
600～800万円未満	76	19.0
800万円以上	15	3.8
NA	9	2.3

勤続年数	
平均(年)	16.4年
中央値	15年
最頻値	20年